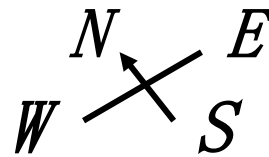


2018年5月1日

第288号

藤沢 エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

主
な
記
事

- ・ぼくらがヘイワをたべてるとき
- ・くげぬまぐらし・放射能測定値
- ・第12回福島っ子リフレッシュ
- ・ふじさわ9条の会13周年のつどい

食は人を良くする

1978年(昭和53年)2月26日。元祖「へっころ谷」の開店日である。38歳で脱サラした私と妻は、3人の子どもをかかえ、失敗の許されない船出だった。当時長男は小学5年生、長女と次男は共に小学2年生であった。「ほうとう」の知名度は低く、浸透するまでには相当の期間を要したが「うまくて安くて家庭的、健康に役立つ店」の商いが支持され、知名度も上がってきた。

安心・安全な食材を求めて、自ら畑作にも励んだ。野菜作りの助っ人になったのが、藤沢エコネット開発の「藤沢ボカシ」であった。

へっころ谷は次男賢悟が継いだのを機に、2005年(平成17年)6月、7km離れた慶応大学先に「古民家食堂ごんぱち」を開店した。ごんぱちは「地産地消」を合言葉にこの地ならではの旬料理を提供してきた。

へっころ谷を振り出しに40年余り、食の生業に関わってこられたのも、平和があればこそ、地球環境も大切にしなければと、すべての思いを「食は人を良くする、健康こそが宝」とし、食育の一環として「ほうとう教室」も随時ひらいている。

昨年6月「したき事、行きたきところも多々ありて」と店仕舞いを発表して以来、存続を求めて下さる声も多くよせられているが、元気なうちに退いて、自然農や趣味の俳句や書道などを極め、新しいことにも挑戦していきたいと思う。

「幾つになっても創(はじ)めることを忘れない」105歳の日野原重明さん、「アベ政治を許さない」96歳の反骨俳人、金子兜太さんの生き方に学び、今までお世話になった方々や、地球に恩返しをしていきたいと考える日々である。私は1940年(昭和15年)生まれの78歳、心はいまだ青年である。

現在、ごんぱち店舗は近くの大学の先生などが中心となり、移築保存の方向で調査検討がなされている。

築95年典型的な養蚕農家屋の新たな活用にむけて動き始めている。

(古民家食堂ごんぱち 古屋昌寿)



古民家食堂ごんぱち と店内(左図)

第12回 福島っ子リフレッシュ

福島からやってきた24人は、今回もリフレッシュができました。3/29～4/1の3泊4日、保護者は10人、幼児を含む子ども14人が伸び伸びと駆け回る姿に母親は温かく見守っていました。そして「また来るよ!」と言って帰っていきました。

藤沢エコネット会員の皆様には多大なご支援を頂き感謝申し上げます。

第12回目のリフレッシュはちょうどサクラが満開で晴天に恵まれて良かったです。少年の森では夕食のカレー作り、まき割りや火起こし、野菜を切ったりして、大鍋で作ったカレーは格別とおかわりもして!

保護者とスタッフで交流会も行い、その間は子どもたちだけで、手品、人形の「ケンちゃん」を入れて腹話術、プレゼントのケン玉で遊びました。



まき割りを体験

藤沢での一泊、翌日はいすゞのバス提供で、議員さん2人がガイドして下さりいすゞプラザを見学、大きなジオラマで車の走る様子やライトをつけて走る車に見入っていました。その後は江の島で昼食、散策し、こどもの国へ向かいました。

こどもの国では広い敷地に乗り物や動物もいて充分遊ぶことができました。外遊びだけでなく、恒例になったタコ作りは、和紙に思い思い



いすゞプラザのジオラマで

の絵を描き、糸をつけて揚げ、80mの糸をめいっばい伸ばして風を受けて揚げたタコの



みんなで食事

手ごたえは、子どもたちを夢中にさせました。また必ず元へ帰ってくる「ブーメラン」づくりも、段ボールのカスタネットづくりも面白かったようです。

「保護者からの感想～抜粋」

◆他の保養に漏れてしまい、こちらの保養に初めて参加してみましたが、また参加したいです。7年もち、保養を継続し続けることはとても大変だと思います。とても心苦しいです…しかし、どうか可能な限り続けて頂けたらありがたいです。保養だけが心の支えです。ありがとうございました感謝を込めて

◆楽しい体験を沢山させていただいて感謝しています。息子は同年代のお友達とずーっと友達だったかのように、毎日仲良く遊ぶ姿を見ることができて良かったです。貴重な時間を過ごせたと思います。子どもたちもここに来るといきいきとして大いに遊んでいる姿を見て、私もとても嬉しくて。ホッとできる場所です。これも沢山のの方々、ボランティアさん、寄付して下さいました、地域の方々の援助で成り立っていると思います。良い思い出ができました。毎日健康で笑顔でいることが一番だと感じております。(荒井かつ子)

「ぼくらがヘイワをたべてるとき」

3月31日、茅ヶ崎市役所分庁舎で、アーサー・ピナード(詩人)×長谷川義史(絵本作家)×大友剛(音楽家、翻訳家)のトークライブ「ぼくらがヘイワをたべてるとき」が開催された。

満員の会場内には、春休み中ということもあってか親子で参加する人の姿も多く見られた。

マジシャンでもある大友氏のマジックショーから始まり、翻訳を手がけた『ねこのピート』、そして話題の絵本『絵のない絵本』の朗読と続き、舞台下に集

くげぬま ぐらし



アーサー・ピナード×長谷川義史×大友剛のトークライブ

まった子どもたちの笑い声が会場中を充たした。

続いて、長谷川氏のライブペインティングでは、直球の言葉を投げかける子どもとのやりとりに苦戦しながらも、大きな白い紙に次々と描かれていく絵に、大人も子どもも歓声を上げていた。そして自らの絵本『おならまんざい』『だじゃれ世界一周』の朗読では、作品に通底する平和への思いが感じられ、この日のタイトルにもなった『ぼくがラーメンたべてるとき』へ至るころには、胸がいっぱいになるような気持ちだった。

大人も子どももたくさん楽しんだ後、アーサー・ピナード氏を加えた3人でのお話が始まった。森友学園にまつわる文書改ざん問題、今年1月に行われたJアラート訓練、憲法改正、緊急事態条項。多様な社会問題を取り上げながらも、ユーモアと市民目線を忘れないお話は、自分の事として社会問題を捉えるための視点を与えてくれる、とても有意義なものだった。

街頭演説の人垣の向こう通り過ぎて行く人達にこそ、伝えなければならないことがある。平和は願っているだけではなく、動かなくては実現しない。数々の言葉にうなずき、終盤に自然発生した子どもたちの歌を聞きながら、改めて平和のために自分になにができるのかを考えた。

帰りがけ、会場内に展示された江ノ島～茅ヶ崎海岸の歴史についてのパネルを見て、このあたりの海岸がほんの59年前まで米軍の射撃練習・演習場であったこと、市民運動によって庶民の手に返還されたことを初めて知った。

(田島絵里子)

60年前、目黒区柿の木坂で、環状7号線工事が始まった。完成すれば大動脈の道路である。昼夜突貫で、煤煙公害のせいか、父のゼンソクの発作は激しさを増した。

当時17歳の私は、気候温暖な湘南方面に転地療養のため土地を求めて必死に歩き回った。別荘地として、肺結核患者の保養地として、評価の高かった鵜沼が初めて不動産会社から分譲地として売り出された。私は飛びつくように調べまくって、実印と手付金を持って



当時の地引網

即日契約した。父の死線をさまよう発作を思うと、怖いものはなかった。いちにちも早く家を建ててくれ

る業者をみつけ、春から住んだのが、いまいる鵜沼・藤が谷だった。

休日には、父を連れて、片瀬・鵜沼海岸～江の島へと散歩に行った。朝早く行くと、漁師が地引き網漁をやっており、引くのを手伝った。大漁の時は、アジやサバなど10尾ほどもらい。急いで帰宅して、酢と醤油だけで朝食のおかずにした。のどかで、すがすがしい朝のひとつときを楽しんだもんだ。

以来ゼンソクの発作は起らず、17年間父は穏やかに過ごし、72歳の時に心不全で病院で死去した。転地療養は成功だった。

地引網は今でもあるが、会費を取って網を引いてもまったく不漁の時もある。そのため、事前に雑魚を仕入れておき、手配りするとか？

昭和40年代までは、魚が獲れ過ぎて、高級魚も入りもした。手押しリヤカーに積んで、片道50kmを5人で走り、東京まで魚を売りにいったことも良く聞いた。

昔を知る者にとっては、寂しくも嬉しい話でもある。

(国枝 健)

ふじさわ九条の会 13周年のつどいに参加して

八法亭みややっこさん(職業は弁護士 飯田美弥子)の「目からうろこの憲法晰」、プロの落語家が話しをしているような素晴らしい語り口でビックリしました。

「憲法とは何か、大日本帝国憲法と日本国憲法との決定的に違うところ。「天皇主権」か「国民主権」かを分かりやすく解説して、会場の「笑い」を上手にとっていました。

立憲主義＝国家権力を分立させ、権力を縛るもの。

日本国憲法でやっと国民主権・三権分立が導入されたのに安倍政権は、自民党改憲草案で「字句」を巧妙に書き換えて人権保障・国民主権・平和主義を骨抜きにしようとしています。

みややっこさん、90分間、会場を笑いの渦に巻き込みながら、日本国憲法の素晴らしさ、これをしっかり守っていきましょと結びました。

私は、今日の講演を聞いて、安倍改憲 NO!の3000万署名にもっと力を入れて「九条の会」の会員として憲法を守り、暮らしに生かすために頑張ろうと思います。

(品川邦之)



放射能測定値(市民計測) (HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

4/12	奥田公園芝生	0.027
	奥田公園入口通路	0.048
4/22	長後駅南口歩道	0.043
	長後 市営住宅前道路	0.049
	長後 サカタのタネ前道路	0.052

ECONET INFORMATION

▲「原発事故8年目 神奈川と福島は今」展 5/5(土)～5/10(木) 10:00-19:00

神奈川県民サポートセンター(横浜駅西口から5分)

オープニングトーク 保養・検診 脱被ばく 避難と闘い

ミニトーク 展示 豊田直巳写真展など

・吉原毅さん(城南信用金庫顧問)講演

5/8(火) 17:00-19:00 2階ホール

・5/7(月)「福島は語る」15:30-上映

(土井敏邦監督ドキュメント) ・全て無料です

問合せ 実行委員会 090-2143-7348

▲「再生エネルギーの現状とこれから」

講師 宮地俊作さん(藤沢サンエナジー理事長)

5月27日(日) 14:00-

市役所新庁舎5階 会議室2



主催 湘南のなぎさを守る藤沢市民の会 ☎82-2036

▲かながわピースフェア 爆音のない静かな空を

模擬店 多彩なステージなど

5月20日(日) 10:00-

大和駅東プロムナード 連絡先 046-200-5388

▲辻堂海浜公園まつり

5/26(土)～27(日) 10:00-

フラダンス 大道芸 子ども遊び各種

問合せ: 公園管理事務所 0466-34-0011

▲藤沢エコネットから

◆学習会&総会

6月2日(土) 13:30-16:30 資料代300円

辻堂市民図書館ホール(辻堂駅南口から3分)

講演「原発ゼロ基本法案とは？」

講師 近江屋信広(原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟役員)

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 5月11日(金) 1400～活動プラザ六会

《編集後記》4月末、歴史的南北首脳会談が開かれ「朝鮮戦争の終結を年内に」「完全な非核化で核のない朝鮮半島の実現」を宣言。平和への大きな希望である。1953年以来分断され、平和協定は民族の願いであるとともに周辺国の安定、平和につながる。批准50カ国で発行する核兵器禁止条約も56カ国が署名した。非核化が朝鮮半島、アジア、世界へと広がってほしい。(A)